



保護者アンケートより

○ 体育館に入ったとたん、子どもたちの作品の熱気が感じられ、驚いた。どの作品も味があり、本当に素敵で、思わず一つ一つの作品にじっくり目を通していった。そうすると、子どもたちの一生懸命にがんばって作品作りに取り組む姿が想像でき、とつても感動した。うまいとか、下手とか言い表すことができるものではなく、どの作品も本当に本当に素敵で、褒めてあげたくなるものばかりだった。今年は発表会がなく、少し残念に思っていたが、作品展のよさも十分感じられるもので、またぜひ見てみたいと思った。

○ みんなのがんばりがとても良く伝わった。時間も夜7時までと、仕事が終わってからいけるのでよかった。

○ 子どもたちの個性が出ていて、家族で楽しく見ることができた。目をきらきら輝かせながら作った作品を紹介してくれた。他の学年の作品もゆっくりと見れ、創造力の成長がわかるので、これからも作品展を続けてほしい。なかなか父親が参加できないので、午後7時まで見学することができ、会話も弾んでよかった。

○ 作品展より発表会のほうがよかったと聞いていたので、作品展か・・・と思っていたが、どれを見ても一生懸命にがんばって作ったんだなあと思うと、子どもが「失敗したからいやだ」といっていた作品も味が出ていてよかったと思った。学習発表会と作品展と、毎年違うのもいいのかなあと思ったが、やはり6年生の親となった時には発表会が見たいと思う気持ちもあった。何をやっても秋竹小は素敵だと思う。

○ 作品展はどれも力が入った作品ばかりだったと思う。が、やはり去年までの発表会のほうが良いと思った。親目線からいわせていただくと、「また来年も見たいと思い、楽しみに感じる」のは、発表会だから。子どもたちはどうだろうか？主体でがんばっている子どもたちが『来年もまたやりたい』と思っているのは何なのか。お父さんお母さんに見てもらおうのをワクワクしながら準備できるものであってほしいと思う。最後に、作品展はどれも素敵だった。

○ 秋竹は、人数が少ないので、何か全学年で作る一つの絵とかあると、もっと子どもたちの思い出になるのかなと、欲が出てしまったくらいよかった。



○ 初めての作品展で、大きな共同作品とか、もっとすごい作品が見られるものと思っていたので、少しがっかりした。夕方仕事をしている者にとって、見る時間が限られてしまったことは残念だった。個性たっぷりの作品が見れたことはとてもよかったが、やっぱり最終学年は、舞台上で発表する姿を見たかった。

○ 体育館の中に入ってびっくり。すごい数の作品が一つ一つしっかりと丁寧に作ってあり、そして工夫されていて、本当に驚いた。全学年の作品を見たが、思っていた以上の力作ばかりだった。家族で楽しませていただいた。自分の顔を書いた作品に顔写真があるとよいと思った。

保護者アンケートへのご協力、たいへんありがとうございました。たくさんいただいたご感想・ご意見のほとんどが、子どもたちの作品のよさやその頑張りを認めてくださるものばかりでした。また、ご来場いただいた際に、作品の素晴らしさや展示の工夫など、直接感想をお聞かせくださる方も見えました。13年ぶりの作品展、好評のうちに幕を閉じることができたと、私たち職員も喜んでいますが、ただ、ご意見の中には、授業時間などに不安があるとの声も聞かれました。また、開館時間についても、再考の余地ありといったところです。

今回いただいたご意見をもとに、見直すべきところは見直して、2年後、更によりよいものにしていきたいと考えています。ありがとうございました。